



事務連絡
2024年8月28日

職員各位

薬事委員会
委員長 水野伸一

薬事委員会 会議結果報告

2024年8月21日に開催された薬事委員会での審議結果を報告いたします。

1. 別記載の医薬品4品目6規格及び後発医薬品4品目6規格を採用医薬品に追加する。
2. 別記載の医薬品5品目6規格の採用医薬品を変更する。
3. 別記載の医薬品3品目3規格を院外処方限定医薬品に登録する。
4. 別記載の医薬品5品目6規格を削除する。

以上

2024年8月院外処方限定医薬品

- ・ドキサソシン錠2mg
- ・ニフェジピンCR錠40mg
- ・ピタバスタチンCa錠1mg

2024年8月採用変更医薬品

| | | |
|------------------------------------|------------------------------------|---------|
| 7がリムアブ BS 皮下注 40mg ペン 0.8mL 「第一三共」 | 7がリムアブ BS 皮下注 40mg ペン 0.4mL 「CTNK」 | 銘柄変更 |
| テリパラチド皮下注用 56.5μg 「サイ」 | テリボン皮下注用 56.5μg (溶解液付) | 出荷停止 |
| ネオピタカイン注 5mL | ネオピタカイン注シリンジ 5mL | シリンジへ変更 |
| ネオレスタール注射液 10mg | ポララミン注 5mg | 販売中止 |
| メトジェクト皮下注 7.5mg シリンジ | メトジェクト皮下注 7.5mg ペン | デバイス変更 |
| メトジェクト皮下注 10mg シリンジ | メトジェクト皮下注 10mg ペン | デバイス変更 |

2024年8月削除薬品一覧表

薬効分類

- 2241 鎮咳去痰剤
- 6249i 合成抗菌剤
- 3339A 血液凝固阻止剤含有製剤
- 4223 代謝拮抗剤
- 4223 代謝拮抗剤
- 2499i ホルモン剤

薬品名 (削除理由: 特に記載なければ処方頻度減少による)

- キョウニン水 (院内製剤: 咳水コデイン削除のため)
- ザイボックス注射液 600mg (後発医薬品あり)
- ヒルドイドローション 0.3% (後発医薬品あり)
- 5-FU注 250mg (後発医薬品あり)
- 5-FU注 1000mg (後発医薬品あり)
- リュープリン注射用キット 3.75mg (後発医薬品あり)



新規採用医薬品

| | | |
|--|--|--|
| <p>アジョビ皮下注 225mg オートインジェクター 大塚 1190 成分:フレマネズマブ(遺伝子組換え) 《禁忌》本剤成分に重篤な過敏症の既往歴。</p> | <p>効能 用法 副作用 貯法</p> | <p>ヒト化抗 GGRP モノクローナル抗体製剤(片頭痛発作の発症抑制) フレマネズマブ(遺伝子組換え)として4週間に1回225mgを皮下投与、又は12週間に1回675mgを皮下投与。 《重大な副作用》重篤な過敏症反応(頻度不明) 凍結を避け2~8℃</p> |
| <p>アブリスボ筋注用 劇 ファイザー 6313 成分:RSV-A 融合前 F タンパク質・RSV-B 融合前 F タンパク質 《接種禁》明らかな発熱。重篤な急性疾患。本剤成分にアナフィラキシーの既往歴。その他の予防接種不適当な状態。</p> | <p>効能 用法 副作用 貯法</p> | <p>《薬価基準未収載医薬品》 a)妊婦への能動免疫による新生児及び乳児におけるRSウイルスを原因とする下気道疾患の予防 b)60歳以上の者におけるRSウイルスによる感染症の予防 a)抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解後、妊娠24~36週の妊婦に1回0.5mL(筋) b)抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解後、1回0.5mL(筋) a)b)医師が必要と認めれば他のワクチンと同時接種可 《重大な副作用》ショック、アナフィラキシー[不明]。 凍結を避け2~8℃</p> |
| <p>ミヤ BM 細粒・錠 ミヤリサン製薬 2316 成分:酪酸菌(宮入菌)</p> | <p>効能 用法</p> | <p>腸内菌叢の異常による諸症状の改善 〈細粒〉1日1.5~3g(分3)。〈錠〉1日3~6錠(分3)</p> |
| <p>レケンビ点滴静注200mg2mL、500mg5mL 劇 エーザイ 1190 成分:レカナマブ(遺伝子組換え) 《禁忌》本剤成分に重篤な過敏症の既往歴。投与開始前に血管原性脳浮腫、5個以上の脳微小出血、脳表ヘモジデリン沈着又は1cmを超える脳出血が確認された患者(ARIA のリスクが高まるおそれ)。</p> | <p>効能 用法 警告 副作用 貯法</p> | <p>ヒト化抗ヒト可溶性アミロイドβ凝集体モノクローナル抗体[アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制] レカナマブ(遺伝子組換え)として10mg/kgを2週間に1回、約1時間かけて点滴静注 蛋白結合性の低い0.2又は0.22ミクロンのインラインフィルターを使用 《本剤の投与は、アミロイドPET、MRI等の本剤投与にあたり必要な検査及び管理が実施可能な医療施設又は当該医療施設と連携可能な医療施設において、アルツハイマー病の病態、診断、治療に関する十分な知識・経験を有し、本剤のリスク等について十分に管理・説明できる医師の下で、適切と判断される患者のみ実施。開始前にARIAの発現割合、ARIAのリスク及びリスク管理のために必要な検査、ARIAの発現時の対処法について、患者及び家族・介護者に十分な情報を提供して説明し、同意を得てから投与すること。異常が認められた場合には、速やかに主治医に連絡するように指導すること。》 《重大な副作用》Infusion reaction[26.1%]、ARIA-浮腫/滲出液貯留[12.6%]、ARIA-微小出血及びヘモジデリン沈着[13.6%]、脳表ヘモジデリン沈着症[5.2%]、脳出血[0.4%]。 凍結を避け2~8℃、遮光</p> |

新規採用後発医薬品

| | | |
|--|--|---|
| <p>イリノテカン塩酸塩点滴静注液40mg2ml、100mg5ml 劇 日本化薬 4240 成分:イリノテカン塩酸塩水和物 《禁忌》骨髄機能抑制、感染症、下痢、間質性肺炎、肺線維症(増悪)。腸管麻痺、腸閉塞、多量の腹水・胸水、黄疸(副作用)。アタザナビル投与中(代謝遅延)。本剤成分に過敏症の既往歴。</p> | <p>効能 用法 警告 副作用 貯法</p> | <p>a)小細胞肺癌、a)非小細胞肺癌、b)子宮頸癌、b)卵巣癌、b)胃癌(手術不能又は再発)、b)結腸・直腸癌(手術不能又は再発)、a)乳癌(手術不能又は再発)、a)有棘細胞癌、c)悪性リンパ腫(非ホジキンリンパ腫)、d)小児悪性固形腫瘍、e)治癒切除不能な肺癌 A法:B法:E法は投与量に応じ500ml以上の生食・ブドウ糖液・電解質維持液と混和し、90分以上で点滴。 C法は投与量に応じ250ml以上の生食・ブドウ糖液・電解質維持液と混和し、60分以上で点滴 D法は投与量に応じ100ml以上の生食・ブドウ糖液・電解質維持液と混和し、60分以上で点滴 a)A法、b)A法又はB法、c)C法、d)D法、e)E法 A法:1ケル:1日1回100mg/m²、1週間間隔で3~4回、2週休薬(点滴静) B法:1ケル:1日1回150mg/m²、2週間間隔で2~3回、3週休薬(点滴静) C法:1ケル:1日1回40mg/m²、3日間連日、1週間毎に2~3回、2週休薬(点滴静) D法:1ケル:1日1回20mg/m²、5日間連日、1週間毎に2回、1週休薬(点滴静) E法:1ケル:1日1回180mg/m²、2週休薬(点滴静) 《患者(家族)に有効性・危険性を十分に説明し同意を得ること。骨髄機能抑制・下痢で死亡例あり。アタザナビル投与中の患者には禁忌。緊急時に十分に措置できる施設で十分な経験を持つ医師のもと、適切と判断される症例にのみ投与、頻回に臨床検査を行う等状態を十分に観察すること。投与24時間以内に末梢血液検査で結果確認。投与予定日の白血球が3000/mm³未満又は血小板が10万/mm³未満は中止又は延期。投与予定日の白血球が3000/mm³以上で血小板が10万/mm³以上でも、急激な減少傾向があれば中止又は延期。》 《重大な副作用》白血球減少[84.2%]、好中球減少[80.8%]、血小板減少[20.4%]、貧血[61.4%]、下痢[65.5%]、汎血球減少、ショック、アナフィラキシー、肺塞栓症、静脈血栓症、脳梗塞、心筋梗塞、狭心症発作、急性腎障害、黄疸、肝機能障害、消化管出血、大腸炎、小腸炎、腸管穿孔[不明]、腸管麻痺[2.5%]、腸閉塞[0.5%]、間質性肺炎[2.4%]、心室性期外収縮[0.8%]、発熱性好中球減少症[1.3%] 室温</p> |
|--|--|---|

| | |
|--|---|
| <p>オキサリプラチン点滴静注液100mg20mL「NK」 毒 日本化薬 4291 成分:オキサリプラチン 《禁忌》機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全(増悪)。本剤成分又は他の白金含有薬剤に過敏症の既往歴。妊婦又はその可能性(催奇形性)。</p> | <p>効能 a)治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌、a)結腸癌における術後補助療法、b)治療切除不能な膀胱癌、小腸癌、a)胃癌 用法 5%ブドウ糖250～500mLに注入、a)はA法又はB法、b)はA法 他の抗悪性腫瘍剤併用、以下を1サイクルとして投与を繰り返す、状態により適宜減量 A法:1日1回85mg/m²(点滴静)2時間で、少なくとも13日休薬 B法:1日1回130mg/m²(点滴静)2時間で、少なくとも20日休薬 警告 《本剤を含む癌化学療法は緊急時に十分対応できる医療施設において十分な知識・経験を持つ医師の元、適切と判断される症例にのみ実施。患者の選択には各併用薬剤の添付文書を参照し十分注意。開始前に有効性・危険性を十分説明し同意を得る事。投与数分で過敏症状の報告あり、発現時には直ちに中止し再投与不可。用法用量を遵守する事。本併用療法で致死的副作用あり》 副作用 《重大な副作用》末梢神経症状[96.6%]、ショック、アナフィラキシー、肺線維症[不明]、間質性肺炎[0.6%]、骨髄機能抑制、溶血性尿毒症症候群、薬剤誘発性血小板減少症、溶血性貧血、視野障害、視神経炎、視力低下、心室性不整脈、心筋梗塞、肝静脈閉塞症、急性腎障害、白質脳症(可逆性後白質脳症症候群含む)、高アンモニア血症、横紋筋融解症、難聴、感染症、肝機能障害[不明]、視野欠損[0.6%]、血栓塞栓症[3.4%]、耳鳴[0.6%]。 貯法 室温</p> |
| <p>ゲムシタピン点滴静注用200mg、1g「ヤクルト」 劇 高田 4224 成分:ゲムシタピン塩酸塩:GEM 《禁忌》高度骨髄抑制、胸部単純X線写真で明らかで臨床症状のある間質性肺炎・肺線維症、重症感染症(致命的増悪)。胸部放射線療法(重篤な副作用)。本剤に重篤な過敏症の既往歴。妊婦又はその可能性(催奇形性)。</p> | <p>効能 代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤(a)膀胱癌、a)胆道癌、a)尿路上皮癌、b)手術不能又は再発乳癌、a)癌化学療法後に増悪した卵巣癌、c)非小細胞肺癌、a)再発又は難治性の悪性リンパ腫 用法 200mgバイアルは5mL以上、1gバイアルは25mL以上の生理食塩液に溶解し、30分かけて(点滴静) a)1回1000mg/m²、週1回投与を3週連続、4週目休薬、これを繰り返す b)1回1250mg/m²、週1回投与を2週連続、3週目休薬、これを繰り返す c)1回1000mg/m²、週1回投与を3週連続、4週目休薬、これを繰り返す。シスプラチンと併用時、1回1250mg/m²、週1回投与を2週連続、3週目休薬を1コースとすることも可。 警告 《週1回30分で点滴すること。高度骨髄抑制に禁忌。胸部単純X線写真で明らかで臨床症状のある間質性肺炎・肺線維症に禁忌。放射線増感作用を期待する胸部への放射線療法との同時併用禁忌。緊急時に十分対応できる医療施設において癌化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで本剤が適切な症例にのみ投与すること。臨床症状を十分に観察し、頻回に臨床検査、定期的に胸部X線検査等を行い、異常あれば適切に処置し投与継続を慎重に検討すること》 副作用 《重大な副作用》骨髄抑制(白血球減少[72.6%、2000/μL未満17.5%]、好中球減少[69.2%、1000/μL未満32.1%]、血小板減少[41.4%、5万/μL未満4.2%]、Hb減少[66.5%、8/dL未満13.1%]、赤血球減少[52.6%]、間質性肺炎[1%]、アナフィラキシー、心筋梗塞、溶血性尿毒症症候群[0.2%]、うつ血性心不全、肺水腫、気管支痙攣、成人呼吸促迫症候群[ARDS]、腎不全、皮膚障害、肝機能障害、黄疸、白質脳症(可逆性後白質脳症症候群含む)[不明]。 貯法 室温</p> |
| <p>ゾニサミド OD錠25mgTREF「杏林」 劇 杏林 1169 成分:ゾニサミド 《禁忌》本剤に過敏症の既往歴。妊婦又はその可能性(催奇形性)。</p> | <p>効能 a)パーキンソン病(レボドパ含有製剤に他の抗パーキンソン病薬を使用しても十分に効果が得られなかった場合) b)レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム(レボドパ含有製剤を使用してもパーキンソニズムが残存する場合) 用法 レボドパ含有製剤と併用する。 a)1日1回25mg経口投与、パーキンソン病における症状の日内変動(wearing-off現象)の改善には、1日1回50mg経口投与 b)1日1回25mg経口投与 副作用 《重大な副作用》中毒性表皮壊死融解症(TEN)、紅皮症(剥脱性皮膚炎)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、過敏症候群、再生不良性貧血、無顆粒球症、赤芽球癆、急性腎障害、間質性肺炎、肝機能障害、黄疸、発汗減少に伴う熱中症[不明]、血小板減少、横紋筋融解症、腎・尿路結石、譫妄、悪性症候群、妄想、錯乱[1%未満]、幻覚[1%以上]。</p> |

整理医薬品在庫表(2024/8/14現在)

| 内服 | | 現在在庫量 | 単位 | 一包数 | 薬価単位 | 薬価 | 総額薬価 | 薬効分類 | 備考 |
|----|----------|-------|----|-----|------|-------|---------|------------|-------------|
| 1 | ドレニゾンテープ | 31 | 枚 | 1 | 枚 | 62.60 | 1,940.6 | 副腎皮質ホルモン製剤 | 使用期限2024/12 |
| | | | | | | | 1,940.6 | ①内服合計 | |